大殿小学校　学校だより　　平成30年　10月号

おおどの健児

平成30年　10月4日発行

実りの秋　エピソード１

校　長　　磯　村　　勇

去る９月２２日（土）、平成３０年度の秋季大運動会は、天候にも恵まれ予定通りに実施することができました。前日の夕方、保護者の皆様がシートを敷くために学校に集まっておられたときには、土砂降りだったのですから、開会式のときに秋の高い空が見えたときは、本当に感動しました。

開会式では、「高い秋の空が、大殿小の運動会を応援してくれるはず」というような話をしましたが、子どもたちは自然からの快晴というプレゼントを受け取るのにふさわしい活躍だったと思います。練習の成果を発揮するどころではない、本番でしかできなかった勢いや美しさがあったと思います。もちろん、それはご声援いただいた保護者の皆様、地域の皆様の存在が大きいと思います。ダンスや組体操の決めポーズのとき、全力で走り最後までやりぬく姿を見せたとき、会場全体から起こる温かい拍手は、子どもたちの耳に心に届いたことと思います。

強い日差しの中、ご声援くださった保護者の皆様、地域の皆様に、心からお礼申し上げます。

さて、「実りの秋　エピソード１」と勝手に名づけました運動会を終え、学校は勉強の秋、芸術の秋へと流れていきます。教室は暑さもすっかりおさまり、勉強するのに最適な気候です。並行して音楽会の準備も少しずつ本格化してきます。そうして、１２月始めには、子どもたちが楽しみにしている大殿フェスタと流れていきます。

勉強の秋、芸術の秋のほかにも、１０月の半ばにはホタルの幼虫を放流します。幼虫のえさとなるカワニナの採集や一の坂川の清掃でも、子どもたちは活躍します。実りの秋、充実の秋は、これからも続きます。保護者の皆様、地域の皆様、学校や地域でがんばる子どもたちに、どうぞ一声かけてやってください。折あれば、どうぞ大殿小学校にお越しください。

火曜日の不思議

４月からほぼ毎日・毎朝、大龍門や学校近くの交差点などで、子どもたちを迎えています。その中で前々から感じていたことなのですが、半年ほどが経過して、それはほぼ確信に変わりました。何かといいますと、「火曜日は、子どもたちのあいさつのレベルが高い」ということです。

よいあいさつは、相手に確実に聞こえる声の大きさ、相手の顔を見る目線、笑顔、元気、さわやかさ等々、さまざまな条件がありますが、火曜日のあいさつは平均点が確かに高いのです。

西田教頭に確認すると、「児童昇降口でのあいさつは、火曜日の今日は確かによかった」と、私と同じ感想です。なぜ火曜日なのかという理由は分かりません。月曜日のあまりの元気のなさ（大人も同じですが）のために、次の火曜日は普通であっても余計にすばらしく感じられるのかもしれません。この高い平均点の火曜日が毎日になれば・・これが当面のあいさつ目標です。

そうそう、地域の方から「さっき、交差点で車を止めたら、横断歩道を渡った大殿小の女の子が、丁寧にお辞儀をしましたよ。気持ちがいい。いい躾をしておられる」というお褒めのことばをいただきました。１０月２日、火曜日の放課後のことでした。